1. 令和5年度 学校経営管理全体計画（学校教育目標の具現化構想）

子どもの姿

・明るく素直で、言われたことは、しっかりできる。
・体を通した体験的な活動を好む。
・基礎・基本を生かして発展的な学習へ広げる力は、やや弱い。
・自己表現力が弱く、より良い人間関係を構築することが苦手。
・自尊感情が低いが、人の役に立ちたいという思いを持っている。

第3期滋賀県教育振興基本計画

栗東市教育基本方針

学校教育目標

だれもが いきいき ほのぼの うれしい 小学校

＜めざす子ども像＞

「だ」れもが楽しい学校（学級）を 自分たちで創る子 【自治】
「い」きいき学び合い 深める子 【探求】
「ほ」のぼの お互いの持ち味を 認め合う子 【共生】
「う」れしい 成長を実感し 自分を高める子 【自律】

教育基本法

学習指導要領

保護者・教師の願い

・自ら考え行動する子
・学ぶ楽しさを感じられる子
・明るく元気に挨拶する子
・粘り強くやりぬく子
・自分も人も大切にする子
・「ありがとう」と感謝する子
・わが町、ふるさとを好きと思える子

わたしのめざす学校像

＜子どもにとって＞
夢や希望を持ち、願いを実現できる学校

＜保護者にとって＞
信頼と愛情を感じ、期待感が高まる学校

＜教員にとって＞
やりがいと連帯を感じ、自己を高められる学校

【経営方針】

①安全で安心できる場 …危機管理意識の高揚
②人との関わり方を学ぶ場 …温かい人間関係の醸成
③自分の成長を実感できる場 …人間力向上
④地域コミュニティの核となる場…地域交流 連携の推進

○安心の中で自己を発揮し、認め合い支え合う集団づくり
（学級・学年・学校）
○「やればできる」「みんなとならできそう」と思う感情の育成
（自己効力感や集団効力感の高揚）
○「力を出せてうれしい」「喜んでもらえてうれしい」と思う感情の醸成
（自己有用感や自尊感情の育成）

わたしの学校がめざす教職員の姿勢

◆子どもの心に寄り添い個性を大切にする教職員 【愛】

◆研究や研修に励み自己を高める教職員 【情熱】

◆ 誠心誠意、信頼関係を築く教職員 【信念】

◆持ち味を認め合い学校をつくる教職員 【参画】

＜重点具体目標＞

「学校が楽しい」子どもの育成（９１％）

「まなび」

○基礎・基本の徹底と読書習慣の育成
○子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの推進と、読み解く力の育成
○家庭学習・自主学習の充実

「なかま」

○学級活動１における自治的活動の充実
○児童会活動やクラブ活動における子どもの願いの実現
○協力して創りあげる学校行事の展開

「せいかつ」

○学級活動２における自己指導能力育成
○自分の責任を果たす当番活動の指導
○みんなの安心安全をつくる生活指導
○大宝小「あすなろう」の実践

「こころ」

○学級活動３における未来志向の取組
○自己の生き方を考える人権教育
○障がい理解と多様性の理解
○道徳的価値の理解と実践的態度育成